

人と企業、求職と採用をつなぐ—

びんご経済レポート

2023
9|20
No.2214
(本体価格 546円)
600yen

尾道クミカ工業



尾道クミカ工業株式会社
代表取締役社長

井川 照彦氏

この【人】に聞く

環境負荷の少ない農薬原料供給で 世界の持続可能な農業を支える

PICK UP

石原工作が備後地区初、アマダのレーザー複合加工機導入
高気密高断熱住宅のやまと住建が福山店出店
ホームイダイニングが「にくよし」FC展開へ
10月7日・8日に「オープンストリートフクヤマ」開催



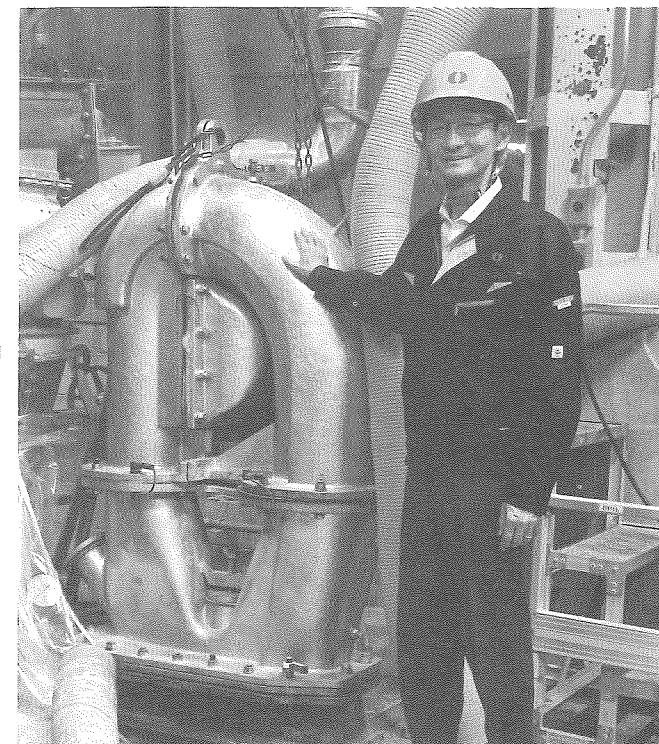
<https://keizai-report.com/web/>

この「人」に聞く

尾道クミカ工業株式会社

代表取締役社長

井川 照彦氏



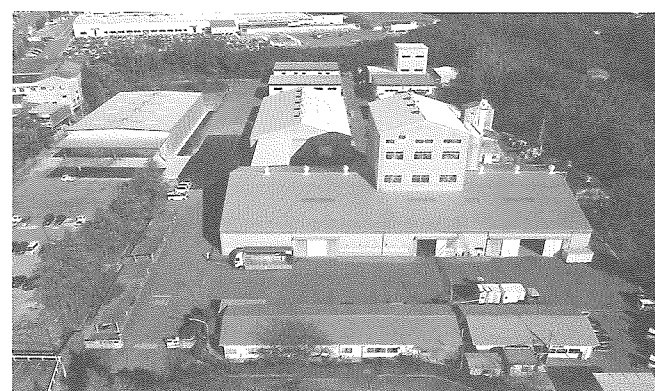
環境負荷の少ない農薬原料供給で 世界の持続可能な農業を支える

尾道工場について

1969年に尾道市の企業誘致第一号としてクミアイ化学工業(株)尾道工場として発足し、72年に現在の商号に変更しました。尾道工場には約50人の社員がいますが、ほとんどが地元の方で、長きにわたり地域と共に歩んできた会社です。

尾道工場は、しまなみ海道で結ぶ連絡拠点として、クミアイ化学工業(株)の西日本における重要な生産拠点です。ISO9001(品質管理)、14001(環境管理)の認証取得はもとより、安全衛生を含めた管理体制を整備し、安定した製品の生産を続けて今日に至っております。

尾道工場では、農薬の各種製剤および原料となる中間品を製造し、その多くが親会社のクミアイ



数種の粉体の混合や、原料のふるい掛け、小分け包装などにも対応し、各種受託加工に伴う粒子径などの品質測定も行ってあります。

化学グループや農薬メーカーへ供給しているため、地域の方には何を作っている会社か分かりづらいと思います。

尾道工場の取り組み

当社の事業は、農薬、工業化学品の粉砕、加工、製剤の受託です。

受託粉砕、加工事業は、農薬製造で培った技術をもとに、気流式微粉砕機(縦型0202型~0808型、横型STJ-200、STJ-400)、衝撃式粉砕機(SK-C-30、奈良式M4SM6)で、お客さまの希望される粒子径への粉砕に対応しています。ドラム缶内固化物破砕機や粗砕機による粗粉砕や二次凝集物の解砕、混合機(リボンブレンダー、レディゲミキサー、ナウタミキサー)による

ラントと水和剤プラントがあり、水和剤プラントでは殺虫・殺菌剤と除草剤の2つのラインがあり、水和剤、中間品の製造、包装をしています。工業化学事業では、粉砕、混合、篩分等の設備と技術により、一般工業薬品、樹脂原料などの粉砕、混合、包装を手掛けております。工業化学品の粉砕は、その素材の持つ硬度や求められる粉砕領域(粒径)に対応する必要があります。所有する種々の粉砕機によりさまざまな原料の粉砕に幅広く対応しています。また、粉砕のほかにも、粉粒体の混合、篩分けや粉体の異物除去など、幅広い要望に対応しております。

当社も低炭素社会や循環経済の実現の取り組みとして、本社屋に太陽光パネルを設置しました。また、工場内もクリーンな環境なので、ぜひ見学においで下さい。

業界の魅力

当社を含むグループでは、創造する科学を通じ

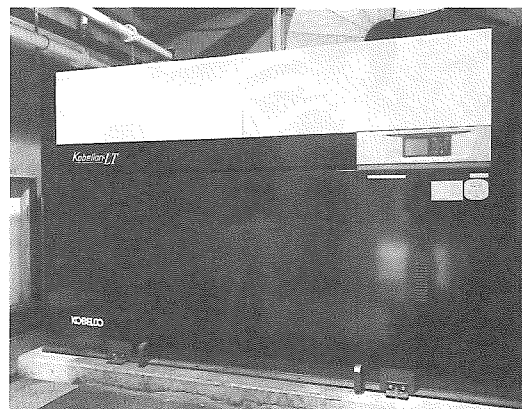


井川 照彦 (いかわてるひこ)

1961年生まれ。静岡県出身。甲南大学卒業後、84年にクミアイ化学(旧イハラケミカル)へ入社。88年から93年にかけて米国にも駐在した。2017年に取締役化学品営業本部化成部品部長に就任。21年から取締役常務執行役員生産資材本部長を務める一方、23年から尾道クミカ工業代表取締役社長を務める。モットーは「もし今日が人生最後の日だとしたら、今やろうとしていることは本当に自分のやりたいことだろうか?」。趣味はゴルフ。

尾道クミカ工業株式会社

所在地:尾道市長者原2-160
設立:1972年
資本金:1億円
従業員:50人
TEL:0848-48-1213
HP: <https://www.onokumi.co.jp/>
業務内容:農薬・工業化学品の受託加工
出先:東京事務所



て「いのちと自然を守り育てる」ことをメインテーマとし、安全・安心で豊かな社会の実現に貢献すること

を企業理念としております。

中核事業である農薬関連事業では、安全・安心で安定的な食料生産を支えるために必要不可欠な農業を開発・提供することにより、持続可能な農業に貢献しております。除草剤の例では、従来の必要数量の5分の1から10分の1の数量で効果を発揮する製品など、環境にやさしい製品を開発・提供する製品など、環境にやさしい製品を開発・提

供しております。また、インドでは、以前は人手により草取りをしていた地域で、私たちの製品を使用することで草取り作業がなくなり、空いた時間に近くの工場で働くことで収入の増加につながっているそうです。

第2の柱である化成事業では、陸上競技場のウレタントラックやエスケーター部品の原料、電子基板の原料、タイヤ補強や防火服の樹脂原料などの開発・提供により、暮らしを豊かにすることに貢献しております。

世界人口は1987年は50億人、2020年は78億人でしたが、2030年には85億人、2050年代には100億人に達するとの推計があり、食料問題、環境問題が深刻化しています。一方、食料を生産可能な耕作地は限られており、単位面積当たりの収穫量増産に向け農業への期待は益々大きくなります。

このような中、当社もグループ企業の一員として、環境に配慮した持続可能な食料生産と豊かな生活を支えるために貢献したいと考えております。

